

# 第52回 支店長のわがまち紹介

小さくともキラリと光る町・大洗



## 茨城県東茨城郡大洗町

神磯鳥居の日の出

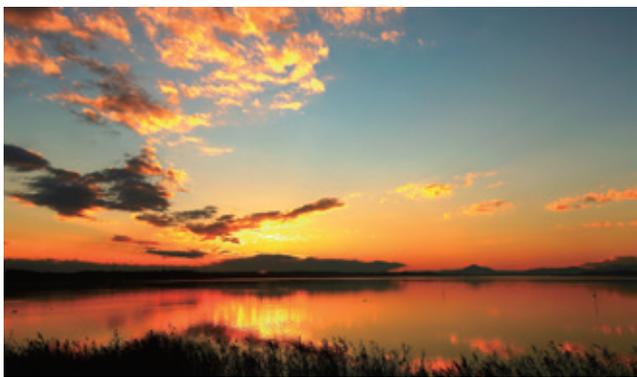
筑波銀行は地域金融機関として、地域の皆さまとの密接な繋がりを持たせていただいております。「支店長のわがまち紹介」は、筑波銀行の支店長がゆかりのある市町村をご紹介させていただくコーナーです。第52回は茨城県大洗町です。大洗支店長が大洗町長小谷隆亮氏にお話を伺いました。

●大洗町は「筑波経済月報」第2号（2013年9月）に本コーナー第2回目の紹介町として、テレビアニメ「ガールズ&パンツァー」を利用したまちづくりの取り組みや震災からの復興に向けた施策などについてお話いただきました。改めまして、本町の魅力や特徴についてお聞かせください。

### ■五感で楽しめる感幸（かんこう）のまち

大洗町の最大の魅力は豊かな自然です。大洗海岸やサンビーチ、松林などが「日本の渚百選」、「快水浴場百選」、「白砂青松100選」、「森林浴の森百選」などの様々な百選に選ばれています。

海以外でも美しい自然が数多くあり、特にラムサール条約に登録された潤沼は、松川地区から見た筑波山に沈む夕日がとても美しく、「未来に残したい日本の自然100選」に選ばれています。



関東地方唯一の汽水湖「潤沼」の美しい夕景

また、フェリーが北海道と繋がっており、クルーズ船につぼん丸が寄港するほか、「アクアワールド茨城



大洗町長  
小谷 隆亮氏

大洗町産業創造振興官  
川上 裕之氏

大洗支店長  
酒井 一嘉

県大洗水族館」や「めんたいパーク」などの子どもから大人まで楽しめる観光施設、「幕末と明治の博物館」、「大洗磯前神社」、「神磯鳥居」などの名所や歴史施設も有しているため、訪れた方々が「食べて・見て・遊んで・おもてなしを受けて」一日を通して「五感で楽しめる県下No.1の感幸のまち」となっています。

### ■釣りファンに愛されるカジキの日本5大漁場



大洗は暖流と寒流がぶつかり合う海域で、カジキの日本5大漁場の1つともいわれ、毎年開催されている茨城ビルフィッシュトーナメントでは、多くの釣りファンが集います。

今年5月には、カジキ釣り愛好家によりカジキミュージアムが設立されました。カジキビルフィッシュトーナメントミュージアムはカジキのオブジェ、釣竿、ルアー、写真などの貴重なカジキコレクションが展示されているファン必見の場所であるとともに、カジキ料理を安価で提供したり、子どもたちに勉強を教えたりと、福祉的要素も兼ね備えています。入場無

料で誰でも気軽に訪れることができるため、今後、「カジキの宝庫・大洗町」を全国に広めるとともに、訪れた全ての人々を癒す憩いの場になればと思います。

### ●今後の展望についてお聞かせください。

#### ■地域の文化にちなんだ食のPR

大洗町は県下No.1の誘客を誇りますが、今後観光地としての魅力により磨きをかけるため、地域の文化にちなんだ「食」についてPRしていきたいと考えています。特に漁港のある大洗町では年間を通じて新鮮な魚介類を楽しむことができるため、春の「鯛の梅つみれ鍋」、夏の「ほっき貝と地魚のしゃぶしゃぶ」、秋の「しらすの白波鍋」、冬の「あんこう鍋」などの鍋料理や岩ガキ、鹿島灘はまぐりなどのグルメシリーズの提供に力を入れていきます。

獲れたての新鮮な地魚・魚介をおふくろの味で楽しめる漁協直営の「かあちゃんの店」は、連日行列ができるほど盛況です。10月からは毎週日曜日に、この待ち時間を利用した遊覧船が楽しめるようになりました。常に行列ができ、周りの店舗などへの波及効果も出ているこの場所で、食のPRと遊覧船の運航により、また新たな誘客につながると期待しています。



大好評「かあちゃんの店」の様子

#### ■インバウンドに対応した観光のまちへ

現在、大洗港へのクルーズ船の誘致に力を入れています。2020年の東京オリンピックに向けて、ますます訪日観光客の増加が見込まれるため、今後も外国客船を含めたクルーズ船の誘致に力を入れます。クルーズ船以外の面でも推進のために（一社）自治体国際化協会（CLAIR）の協力を得てイギリス人女性を国際交流員として迎えました。今後、英語での情報発信や、来町者との国際交流に尽力してもらいます。

大洗町のホテルにはアジア圏からの観光客が年間3,000人程宿泊しています。アジア圏の方々は畳の部屋でも問題のない方が比較的多いようですが、まだまだ外国の方を迎えるには、ベッドの数が不足しています。インバウンドの推進は受入体制を整備する

ことが大切です。そのため、国際交流員の意見を取り入れつつ、ホテルと連携を図り多くの訪日観光客を迎え入れられるようにしていきたいと思っています。

また、職員には湘南の江の島について勉強するよう話しています。江の島は年間1,500万人もの外国人観光客が訪れる観光スポットで、大洗町と比較すると、年間1,000万人もの差があります。私は訪日観光客が江の島を訪れる理由は、江島神社に至るまでの沿道の商店街に日本文化を楽しめるものが並んでいるのではないかと考えています。大洗町にも磯前神社、神磯鳥居、願入寺、西光院など日本の神秘を感じ文化財を学べるスポットが数多くあるため、生シラスやあんこう、岩ガキなど、大洗ならではの食の体験とこれらを活かして日本文化を感じてもらい、誘客につなげたいと考えています。

#### ■ビーチスポーツのメッカを目指す

サンビーチ津波高潮対策のため一時避難所としてビーチセンターを竣工しました。サンビーチはユニバーサルビーチとしてバリアフリーエリアを整備していることから、有事の際には避難場所として、平常時にはサンビーチ賑わいづくりの活動拠点として活用していきます。

サンビーチでは既にジャパンビーチバレーツアーや、ビーチレスリングの開催場所として使用していますが、今後、ビーチサッカー、ジュニアトライアスロンなど多種多様なスポーツがプレーできるように整備し、「ビーチスポーツのメッカ」を目指します。ゆくゆくは22種目あるアジアビーチゲームズの開催も十分に可能だと考えていますが、まずは国体ビーチバレーの開催地として、しっかりアピールしていきます。



ビーチバレーの様子

#### ●筑波銀行に期待することをお聞かせください。

地域の活性化に対する支援は、地方の金融機関の重要な責務のひとつだと思います。カジキミュージアムができたように、空店舗を利用した民間活動を誘発させ「企業誘致支援」や「起業支援のための融資制度の金利優遇」などにおいてご支援いただけたらと考えています。